

# 安全の手引き

在パラグアイ日本国大使館

(2019年2月6日改訂)

I	はじめに	1
II	防犯の手引き	1
	1. 犯罪発生状況	1
	2. 犯罪の傾向	2
	3. テロ・誘拐等（一般論）	2
	4. その他	2～3
III	安全のための心構え	3
	1. 基本的心構え	3
	2. 安全他のための心構え	3～4
IV	2018年の犯罪発生状況	4
	1. 邦人被害	4～5
	2. パラグアイ人民軍（EPP）による襲撃・誘拐事件	5
	3. 主な殺人事件	5～6
	4. アスンシオン市内における主要事件	6
V	緊急事態対処マニュアル	7

## I はじめに

パラグアイは、ボリビア、アルゼンチン及びブラジルと国境を接することから、違法薬物の流通経路となっています。また、サン・ペドロ県、コンセプション県及びアマンバイ県の県境周辺では、パラグアイ人民軍（EPP）を名乗る反政府組織が、大規模農場経営関係者や治安当局員を誘拐し、身代金を要求する事件が発生しています。また、近年は世界各地で内乱やテロ事件、大規模自然災害等が発生しています。一般犯罪の被害に遭わない対策を取ることは勿論のこと、このような緊急事態に対処できるよう、常日頃から最新の情報を入手し「自分の身は自分で守る」という意識を持つことが大切です。

### 在留届、たびレジ登録のお願い

●「在留届」は、緊急事態発生時等において、大使館から緊急連絡等を行うための重要な基礎資料となり、旅券法により海外に3か月以上滞在する場合は、大使館・総領事館へ「在留届」の提出が義務付けられています。（手続きは下記 URL の他、書面で行うこともできますので、詳しくは当館領事班（+595 21 604 616（代））へお問い合わせください。）

●「たびレジ」に登録すると、旅行等、短期滞在時に安全のための緊急情報等をメールで受け取ることができます。旅行等の場合は、忘れずに「たびレジ」への登録をお願い致します。

在留届（帰国や転居等の内容変更もこちらから）

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

たびレジ

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

## II 防犯の手引き

### 1. 犯罪発生状況

年	殺人		傷害	暴行	性犯罪	強盗	窃盗	合計
	既遂	未遂						
2016	623	938	2,105	4,007	554	3,212	7,703	19,142
2017	520	971	1,909	4,346	644	2,828	7,764	18,982
2018	457	864	1,720	4,104	748	2,432	7,833	18,158

※出典：パラグアイ国家警察庁独自統計

統計上、性犯罪事犯が増加傾向にあります。同事犯は潜在化しやすい犯罪被害であり、実数はこれ以上であると考えられます。また、上記統計はあくまでも国家警察庁独自の統計数値であり、他罪種を含め、実際にはこれ以上の発生があると考えられます。

## 2. 犯罪の傾向

### (1) バス車内における被害

スリ被害や痴漢被害に遭う可能性があります。また、強盗犯がバスに乗り込み、凶器を示して運転手や乗客の金品を強奪する事件が発生しています。

### (2) モトチョーロス被害（ひったくり）

主に、都市部において多発し、オートバイ乗車の2人組による犯行が顕著です。犯人はナイフや拳銃を所持しており、歩行者や赤信号停車中の車両に対して凶器を示して所持品を強奪する手口です。時には拳銃を発砲することもあります。

### (3) 空き巣被害

マンションや戸建てを問わず、空き巣被害の多くが、使用人や警備員等、身近な人間の手引きにより発生していると言われています。

### (4) ATM強盗

ATM等から現金を引き出した後、店舗を出たところを複数人で取り囲み、凶器等を示して現金等の所持品を強奪する事件が発生しています。

### (5) アスンシオン市における危険地帯

アスンシオン市セントロの通称チャカリータ地区及びバニヤード・スル地区には、多くの犯罪者が潜伏しているとされ、違法薬物等の闇取引の温床となっています。特にチャカリータ地区は警察でも単独では立ち入らない地区です。

## 3. テロ・誘拐等（一般論）

(1) これまで、パラグアイにおいてテロと認められる事件は発生しておらず、国内におけるテロ組織も報告されていません。また、パラグアイ国家警察庁によれば、2018年中の誘拐事件は4件が認知されています。

(2) サン・ペドロ県、コンセプション県及びアマンバイ県の一部には、パラグアイ人民軍（EPP）と称する反政府組織が活動しており、身代金目的の誘拐事件等を引き起こしています。現在まで、日本人が標的となっている可能性は確認されていませんがEPPの活動状況には常に注意を払う必要があります。

(3) パラグアイ、ブラジル、アルゼンチンと国境を接している三国国境地帯は、パラグアイ側の国境管理が脆弱であり、かつ三国間の連携が十分でないことなどから、組織犯罪関係者が容易に出入国できる環境であると言われています。また、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市及びブラジル側のフォス・ド・イグアス市には、イスラムコミュニティがあり、その中の一部にはイスラム過激派へ資金援助をしている者がいるとの情報もあります。

## 4. その他

### (1) 国境エリア付近

特にブラジルと国境を接する地帯は、麻薬密売組織の密輸ルートとなることから、麻薬組織間の抗争事件が頻発しています。

## (2) 地方都市

アスンシオン市に比べると一般犯罪の発生率は低くなりますが、国道から外れると、麻薬組織の大麻違法栽培エリアに入り込んでしまう可能性があります。

## (3) ボリビア・アスンシオン間のルート

ボリビアとアスンシオン間のルート（ボケロン県，プレシデンテ・アジェス県）の土壌は，水はけが悪く降雨による道路の冠水が頻発し，車両が立ち往生することがあります。周囲に物資を調達できる商店等は殆どありません。

## (4) 交通事情

インフラ整備が脆弱であり，降雨時には路面の陥没や信号機の滅灯等が多発します。また，交通法令の遵守に乏しく，週末や夜間帯は約1割のドライバーが飲酒運転と言われています。

## Ⅲ. 安全のための心構え

### 1. 基本的心構え

(1) 家族や会社の同僚と，常に連絡を取れる体制を取っておいてください。

※ 自分や家族の安全は，自分たち自身で守るとの心構えを。

(2) 出勤や帰宅の際，時間帯やルートは時々変えるよう努めてください。

銀行から車が出た際等，後方も確認しながら走行してください。

※ 犯人が後ろから追尾してきている場合があります。

(3) 新聞，テレビ，大使館のホームページなどで，現在，どのような犯罪が発生しているかを知るように努めてください。

□ 大使館ホームページアドレス

[https://www.py.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.py.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

### 2. 安全のための心構え

#### (1) 住宅

① 住む場所の安全対策は，生活の基礎となるので，ホテルや住宅選びは，安全性を優先しましょう。

② 周囲に照明があることや，地域の治安状況，周辺環境も確認しましょう。

③ 外壁の高さ，施錠設備，窓柵等を確認しましょう。

④ 訪問者は，必ず覗き窓等で相手を確認し，対応はドアチェーンを掛けたまま行うようにしましょう。

⑤ 家への出入りや，エレベーターに乗る前には，周りに不審な人がいないか安全を確認しましょう。

#### (2) 外出

① 高価な貴金属等は，なるべく身に着けないようにしましょう。

② 公共バス内では眠らないようにし，持ち物から目を離さないようにしましょう。

③ 銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗事件も多く発生しています。大きな

ショッピングセンター内にある金融機関を利用する、現金を引き出した後は、周囲を注意深く確認する、お金を引き出した後は直ぐに外に出ず、時間をつぶした後に退店すること等を心がけましょう。

- ④ アスンシオン市セントロ地区にあるチャカリータ地区やバニヤード・スル地区等、危険と言われている場所には昼間であっても近付かないようにしましょう。
- ⑤ 移動中等、不審なオートバイが近付いてきていないか、周囲の状況を常に確認するようにし、警戒の意識を保ちながら行動しましょう。夜間の一人歩きは避け家族に迎えに来てもらう、信頼できるレストラン等から呼んでもらったタクシーを利用する等の対策をとりましょう。
- ⑥ 路上で現金や携帯電話等の貴重品は見せず、また、現金は必要以上に持ち歩かず、なるべく複数のポケット等に分散して持つようにしましょう。
- ⑦ 万が一、凶器を使用した強盗等に遭遇した場合でも、**絶対に抵抗しない**ようにしましょう。
- ⑧ 車両への乗り降りの際は、周囲を確認するようにしましょう。また、走行中はドアをロックし、できるだけ窓も閉めておくようにしましょう。貴重品は車内に残さず、外から見える場所に物を放置しないようにしましょう。
- ⑨ パラグアイは、銃器の入手が比較的容易であるため、護身用に拳銃を持ち歩いている人もいます。万が一、発砲事案に巻き込まれた場合は、速やかにその場から離れる、硬い障害物に身を隠す等して自分を守るようにしましょう。

### (3) 生活

- ① 日頃から地域社会に溶け込み、ご近所の方とも情報交換をしましょう。
- ② 振り込め詐欺（オレオレ詐欺）の被害に遭わないため、家族、職場の同僚とは、いつでも連絡できるようにしておきましょう。犯人は、「焦らせる」「急がせる」ことのプロです。振り込みは、必ず家族や会社同僚に確認をしてから行うようにしましょう。
- ③ 路上生活者や物売りは、相手が子供であってもナイフ等の凶器を持っている場合があります。決して油断しないようにしましょう。
- ④ 休暇等で自宅を空ける際は、家族や信頼出来る友人等へ、行き先を伝えるようにしましょう。
- ⑤ 電話の側等に、緊急連絡のリストを準備し、いつでも連絡できるようにしておきましょう。

## IV 2018年の犯罪発生状況

### 1. 邦人被害

- 5月31日、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市の路上において、在留邦人が背後から来たひったくり犯に所携していたカメラを強奪され軽傷を負った。
- 8月12日、アスンシオン市セントロ地区において、在留邦人が路上でひったく

り被害に遭い、携帯していたカバンを強奪された。

- 9月6日、アスンシオン市の通称「チャカリータ地区」に邦人旅行が入り込み、複数の犯人グループに羽交い絞めにされ、携帯電話等の所持品を強奪された。

## 2. パラグアイ人民軍（EPP）による襲撃・誘拐事件

- 1月11日、サン・ペドロ県タクアティ市において、2015年にEPPに誘拐された被害者の白骨遺体が発見された。
- 2月5日、コンセプション県ウブ・ジャウ市において、2017年にEPPに誘拐された被害者2名が開放され、無事保護された。
- 4月8日、コンセプション県アロジート市の丘において、EPPと共同捜査部隊（FTC）の銃撃戦が発生し、手榴弾により共同捜査部隊2名が負傷した。
- 7月28日、コンセプション県アロジート市の森林地帯において、EPPの分派組織ACAの野営地が発見され、現場から武器等が発見された。
- 11月19日、サン・ペドロ県サンタ・ロサ・アグアラウ市に製材所にEPPと思料される武装犯が押し入り、車両等に放火の上、製材所関係者1名が殺害された。
- 11月24日、サン・ペドロ県サンタ・ロサ・アグアラウ市に所在する牧場建物が放火された。
- 12月7日、サン・ペドロ県サン・ヴィセンテ・パンチョ市に所在する牧場に複数の武装犯が押し入り、農器具類と小型飛行機が放火された。
- 12月22日、サン・ペドロ県サン・ヴィセンテ・パンチョ市に所在する牧場に武装犯が押し入り、警備員1名が射殺され車両2台が放火された。

## 3. 主な殺人事件

- 1月14日、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市の公園で16歳少年の射殺死体が発見された。
- 2月15日、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市で両替商を営む男性が帰宅途中、オートバイ乗車の武装犯に襲撃され射殺された。
- 3月31日、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市の路上で、弁護士射殺死体が発見された。
- 5月19日、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市で31歳男性の絞殺死体が発見された。遺体発見場所は麻薬密売ルート上であったことから、男性が何らかのトラブルに巻き込まれたものとみられる。
- 5月25日、アマンバイ県カピタン・バド市の路上で、14歳女児の射殺死体が発見された。遺体には乱暴された痕跡が確認された。
- 5月30日、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市の路上で両手を切断され、両足に手錠をかけられた状態の男性死体が発見された。
- 6月10日、アスンシオン市チャカリータ地区において、刑務所を出所したばかりの39歳男性の刺殺体が発見された。

- 8月4日、セントラル県のウパカライ市内を走行中の路線バスが発砲を受け、乗客1名が死亡した。
- 8月16日、セントラル県ルケ市のバスターミナルにて、34歳男性が強盗犯に刺殺された。
- 8月20日、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市にて、29歳ブラジル人留学生の女性が、自宅を訪れた乱暴目的の男に19か所刺され殺害された。
- 9月1日、アルト・パラナ県プレシデンテ・ブランコ市の路上で、上半身と下半身を切断された男性2名の死体が発見された。
- 10月1日、アマンバイ県イタ・ポポ地区にて商店を営む夫婦の射殺死体が発見された。現場の状況から強盗被害に遭い、射殺されたものと見られる。
- 10月9日、アスンシオン市セントロ地区にて異臭騒ぎがあり、一般住宅の中から死後数週間が経過した5人の殺人死体が発見された。
- 12月9日、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市近郊で、手足を縛られ銃弾15発被弾した男性遺体が発見された。

#### 4. アスンシオン市内における主要事件

- 1月7日、アスンシオン市のバスターミナル付近において、現金輸送車が複数の武装犯に襲撃され、現金が強奪された。
- 1月9日、アスンシオン市内の路上において、ゲーム感覚で通行人を無差別に襲撃していた21歳の男が強盗容疑で逮捕された。
- 1月18日、アスンシオン市トリニダ地区において、強盗犯に抵抗した男性が凶器で刺され重傷を負った。
- 1月22日、アスンシオン市内を通行中のバスに強盗犯が押し入り、乗客乗員を拳銃で脅した上、携帯品を強奪した。
- 1月30日、アスンシオン市の高級マンションに潜伏していたブラジル麻薬組織構成員が逮捕された。
- 2月10日、アスンシオン市バニヤード・スル地区にて、通行人ら凶器で脅し強盗を働いていた犯罪グループと警察隊の衝突が発生し、男5名を逮捕し、所持していた散弾銃及び拳銃を押収した。
- 5月25日、アスンシオン市に所在する「OLIMPIA」のホームスタジアム内でサポーター同士のトラブルからサポーター1名が3発の銃弾を浴び重傷を負った。
- 7月19日、アスンシオン市の高級住宅街でブラジル麻薬組織幹部が逮捕された。

# V 緊急事態対処マニュアル

## 平素の準備と心構え

- ・**在留届の提出**  
～3ヶ月以上滞在する場合は必ず提出をお願いします。
- ・**たびレジの登録**  
～登録しますと、海外旅行・出張の際等に大使館からの緊急一斉通報メールを受け取ることができます。
- ・**連絡体制の整備**  
～緊急連絡網は最新版ですか？
- ・**ラジオ等情報入手方法の確保**  
～ラジオ等の準備
- ・**避難場所の確認**  
～日頃から緊急時の避難場所を確認しておいて下さい。
- ・**携行品及び非常用物資の準備**  
～旅券等貴重品はすぐに持ち出せますか？  
～飲料水、非常食、医薬品、懐中電灯等の非常持出品を準備していますか？



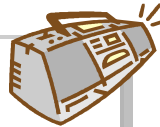
### <緊急避難場所>

- 現在地が
- ・アスンシオン市に近い場合  
→在パラグアイ日本国大使館
  - ・セントラル県イタグア市に近い場合  
→セントロ日系運動施設
  - ・パラグアリ県ラ・コルメナ市に近い場合  
→ラ・コルメナ日本文化協会会館
  - ・アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市に近い場合  
→アマンバイ日本人会会館
  - ・イタプア県エンカルナシオン市に近い場合  
→エンカルナシオン日本人会会館
  - ・イタプア県チャベス移住地に近い場合  
→チャベス日本人会会館
  - ・イタプア県ラ・パス移住地に近い場合  
→ラ・パス日本人会会館
  - ・イタプア県ピラポ移住地に近い場合  
→ピラポ日本人会会館
  - ・アルト・パラナ県イグアス移住地に近い場合  
→イグアス日本人会会館
  - ・アルト・パラナ県エステ市に近い場合  
→エステ日本語学校



## 緊急時の行動

- ・**基本的な心構え**  
～緊急事態が発生した場合に備え、普段から様々な情報の収集に心がけ、そのために、緊急時の連絡方法の確認や確保等に努めて下さい。
- ・**情報の把握**  
～緊急事態が発生した場合、様々な情報が出回りますので、デマや噂に惑わされず、まずは自分が所属している団体等から正確な情報を入手して下さい。
- ・**大使館(領事事務所)への通報依頼等**  
～自主退避した場合は、必ず避難先、安否等の連絡を大使館等へお願いします。また、可能であれば現場の状況を教示願います。
- ・**国外への退避**  
～ブラジルへ退避する場合は、ビザが必要ですので、ブラジル側に退避するしか方法がない方は、他国へ退避する別の手段も考えておいて下さい。  
(アルゼンチン及びボリビアへの入国にビザは必要なし)



◎NHKの短波ラジオの周波数  
(NHKワールドラジオ日本)

・周波数 12025kHz (05:00～07:00)

※ 放送時間は、パラグアイの現地時間です。  
(サマータイム時は、放送時間が1時間早まります。)

### <緊急時に備えてのチェックリスト>

1. 旅券は6ヶ月以上の有効期限がありますか？
2. 現金、貴金属、クレジットカード等はすぐに持ち出せますか？
3. 自動車等は長距離走行が可能ですか？
4. 携行品(衣類、履き物、洗面具、非常食、医薬品等)はすぐに持ち出せますか？
5. ラジオ(電池式)は持っていますか？
6. 懐中電灯、ライター、ナイフ、缶切り、割り箸等を準備していますか？

デマ等に惑わされず、まず  
落ち着いて行動を！

○在パラグアイ日本国大使館  
021-604-616

○在エンカルナシオン領事事務所  
071-202-287

○救急……………141

○警察……………911



## 主要緊急連絡先

- 在パラグアイ日本国大使館  
TEL:021-604-616  
FAX:021-606-901
- 在エンカルナシオン領事事務所  
TEL:071-202-287  
FAX:071-205-130
- JICAパラグアイ事務所  
TEL:021-608-400  
FAX:021-608-406
- アスンシオン日本人学校  
TEL:021-660-499  
FAX:021-660-499
- パラグアイ日本人会連合会  
TEL:021-555-213  
FAX:021-555-770
- パラグアイ日本商工会  
TEL:021-613-533  
FAX:021-613-533
- 日系農業協同組合中央会  
TEL:021-509-525  
FAX:021-509-527
- インターパシフィック旅行社  
TEL:021-447-101  
FAX:021-448-403
- 内山田ホテル  
TEL:021-222-038  
FAX:021-223-175
- 日系ジャーナル  
TEL:021-663-722  
FAX:021-606-689
- NIPPA TRAVEL  
TEL:021-600-391  
FAX:021-665-232
- NIPPON TOUR  
TEL:021-623-360

### 日本人会等連絡先

- アスンシオン日本人会  
TEL:021-553-357  
FAX:021-559-563
- アマンバイ日本人会  
TEL・FAX:0336-272-529
- イグアス日本人会  
TEL:0632-20-243  
FAX:0632-20-468
- エステ日本人会  
TEL・FAX:061-570-037
- ラ・コルメナ日本文化協会  
TEL・FAX:0537-223-355
- セントロ日系  
TEL・FAX:021-608-736
- アマンバイ県カピタン・バド支部  
鈴木部長宅:0337-230-412
- 福祉センター(フェルナド・デラ・モラ)  
TEL:021-513-479

- エンカルナシオン日本人会  
TEL:071-202-268  
FAX:071-202-267
- ピラポ日本人会  
TEL:0768-245-223  
FAX:0768-245-371
- ラ・パス日本人会  
TEL・FAX:0763-20-009
- チャベス日本人会  
TEL・FAX:0213-271-477